

大原小学校 保護者 様

美作市立大原小学校
校長 金島 久美子

学校評価アンケートのご報告

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては益々ご活躍のことと拝察いたします。平素より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。この度の学校評価アンケートに関する結果（※抜粋）をご報告させていただきます。

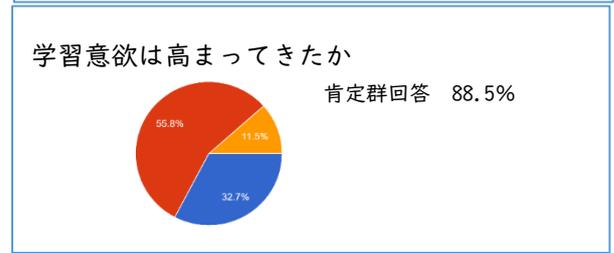
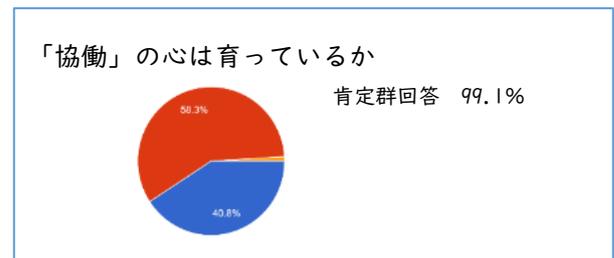
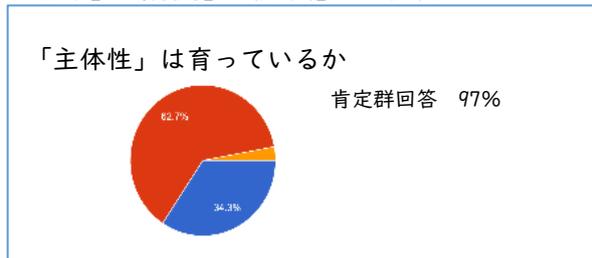
各アンケートのグラフ見方について 肯定群回答

●よくあてはまる ● だいたいあてはまる

非肯定群回答

●あまりあてはまらない ● 全くあてはまらない

I 「主体」「協働」「挑戦」の取組について



※回答について

・本校の3つの心を通しての児童の育成については、ご理解をいただいていることがわかり、安心するとともに、感謝申し上げます。ただ、「挑戦」に対する子どもたちの意欲に課題を感じる方が最も多いようです。

☆保護者からのご意見

○「主体・協働・挑戦」の言葉が子どもから聞かれ、その意味を理解した行動が目に見えたことが本当に素晴らしいです。そして、そのフィードバックを地域から受けることができる設定をしてくださった校長先生をはじめ大原小学校の先生方に深く感謝いたします。

保護者としても、学校全体が一丸となって、共通の目標と価値観を持って取り組む様子が体感でき、「主体・協働・挑戦」のスクールポリシーにより、6年間の中で初めて保護者も学校と一体化できたと実感できました。

○いい所を見つけて褒めてもらっているようで、帰ってくると嬉しそうに話してくれます。頑張るきっかけを頂いています。ありがとうございます。

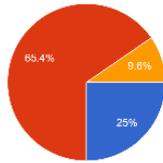
○しっかりとした方針の中で、色々な取組や活動を取り入れてくださっていることで、経験も増えて、とても有難いと感じています。一方で、わが子の方針や流れについていけているのかという心配と、親自身が頭を切替えて何をすればよいのかということが分からなくなることがあります。

—学校より—

3つの心を学校経営の中心に据えた取組に対するご理解に感謝申し上げます。さらに子どもたちの中に具体的な行動ができるよう、継続して取組を進めてまいります。大原小学校が目指す子どもの姿と方向性を、児童・保護者と共有できるよう様々な場を今後も設定していく予定です。

II 子どもの様子について

子どもは学習を理解しているか



肯定群回答 90.4%

※回答について

- ・約1割の保護者が、子どもの学習内容の理解に不安があると回答しています。学校としては、ここに大きな課題があると感じています。

子どもは家事の手伝いをしているか

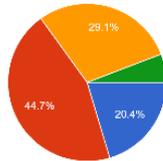


肯定群回答 81.8%

※回答について

- ・約6割の子どもが日常的に家庭で役割をもち、家族の一員としての責任を果たしていると回答しています。こうした子ども達は、ともに助け合う「協働」の大切さを日常生活の中で学んでいくのだと思います。

子どもは自分のよさを知っているか



肯定群回答 65.1%

※回答について

- ・約3割の保護者が子どもたちの自己肯定をもう少し伸ばしたいと回答しています。自己肯定感がなぜ必要か、どうすれば伸ばすことができるのか、一緒に学んでいきましょう。

☆保護者からのご意見

○児童みんなが協力しながら、主体的に行動するという意識がとても高いと思います。

○仲間とともにたくさんのことに挑戦してその成果が形として目に見えることで喜びを感じ、自信が持てるようになっていきます。周りの仲間たちと先生方に感謝でいっぱいです。

○学校に楽しそうに行くので、それが1番です。

●毎日自学4ページしている。毎日4ページとなるとやり過ぎでは？ 次の内容にも困る。

●毎日PCを持ち帰るが、使わずそのまま学校に持って行くので、宿題で使わないなら学校に置いておいてほしい。持ち帰らせるなら宿題などで活用しないと、ランドセルがいつもパンパンで辛そう。

ー学校よりー

本校では、子どもたちの自己肯定感を育み、自信をもって活動できる場を設定するよう、少しずつ新たな取組を進めています。3つの心や岡山大学中山准教授の講演もその一つです。

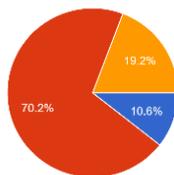
また、メディアを使った広報活動もその一つです。子どもたちにとって、教員からのほめ言葉は嬉しいでしょう。しかし、何よりうれしいのはご家族や地域の方から認められ、評価をいただくことなのです。

学習内容の理解度に不安のある保護者がおられることを今一度再認識しながら、新たな歩みを進めてまいります。なお、PCの持ち帰りについては、コロナ禍における急な家庭学習への備えも考慮し、持ち帰りを基本とさせていただきます。

そのほか、ご指摘いただいた点については、改善を図るべく検討してまいります。

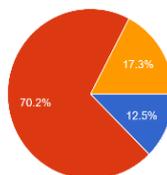
Ⅲ 家庭教育について

家庭でも子どもの主体性を伸ばすよう意識しているか



肯定群回答 80.8%

家庭でも子どもの挑戦意識を高めようとしているか

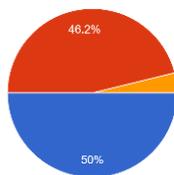


肯定群回答 82.7%

※回答について

- ・約8割が肯定的回答となっており、多くのご家庭が「主体性」「自己肯定感」といった本校が目指す教育の方向性についてご理解いただき、ご家庭でも意識していただいていることが分かりました。感謝申し上げます。

生活リズムを整えるよう心がけているか

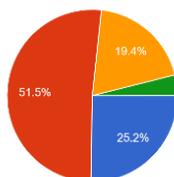


肯定群回答 96.2%

※回答について

- ・約9割の家庭が、基礎的な生活リズムが習慣化されたと回答しています。学習の質に直結する土台が整っていることが、落ち着いた大原小学校の学習環境につながっていると考えられます。

メディアに関わるルールづくりを子どもと相談しているか



肯定群回答 76.7%

※回答について

- ・約7割の家庭では、子どもとの相談によってルールが作られていることが分かりました。この設問からでは、ルールが「ある」「ない」の実態把握はできませんが、約3割の家庭では、ルールができていない、もしくは、親からの一方的なルールとなっているのかもしれない。

☆保護者からのご意見

〇わが子も、少しずつ成長していると思います。もっと…と欲はありますが、見守っていきたいと思います。

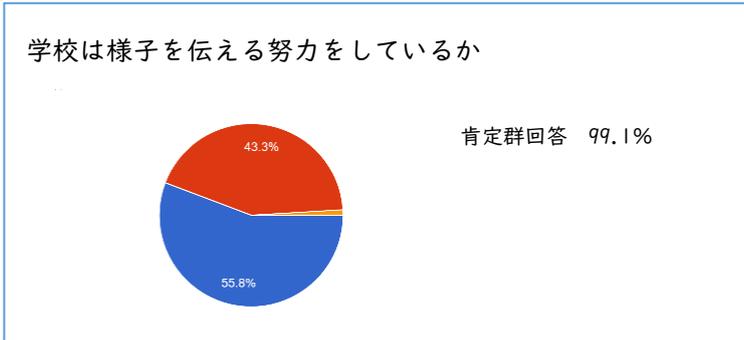
—学校より—

学校教育は、家庭教育の支えなくして成り立ちません。本校は、保護者の方々に支えられ、教育目標「**自らの考えをつくり、協働しながら活動し、社会に貢献できる素地を育てる**」に向かって、着実に前進することができていると感じています。

学校評価アンケートから、家庭においても子どもたちの「主体性」や「意欲の向上」を意識した関わりを進めていただいていることが分かりました。また、生活の基盤となる「生活リズム」についても、整えていただいている様子も伝わってきました。

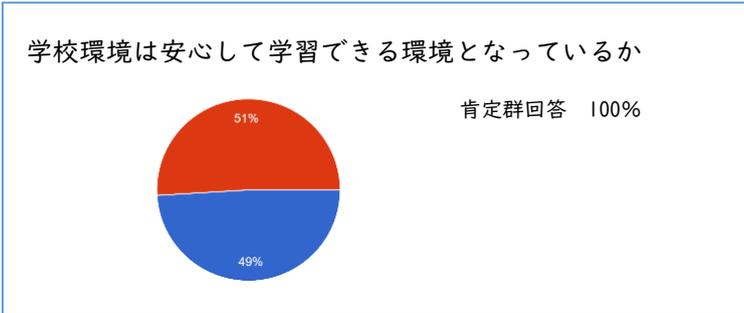
来年度、東栗倉小学校との統合もあります。保護者と学校がともに歩みを進めるために、本校が目指す学校経営の方向性を保護者と共有し、同じ視点・同じタイミングで子どもたちの成長を支援できるよう、ともに学習できる機会を今後とも整えてまいります。ぜひ、ご参加いただければ幸いです。

IV その他



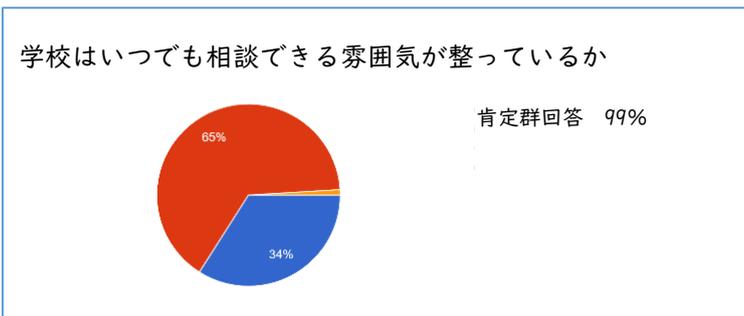
※回答について

- ・本校が取り組んでいる「情報公開」「教育の ICT 化への取組」「開かれた学校づくり」等について、肯定的回答が約 9 割となり、高い評価を得ています。今後も継続的な取組をまいります。



※回答について

- ・教育環境整備には、保護者方のご理解とご協力も多分にいただいております。感謝申し上げます。
- ・学校内・外の積極的な作品掲示等に対して、高い評価をいただいております。継続的な取組を進めてまいります。



※回答について

- ・いつでもご相談に対応できる学校づくりに努めています。高い評価を得ており、今後とも継続していきます。
- ・「あまりあてはまらない」の回答もありました。真摯に受け止め改善できるところは、改善してまいります。

☆保護者からのご意見

○漢字検定や算数検定などの挑戦の機会があったり、縦割り活動で違う学年との活動があったりと、自分の役割や協力して行動する力がついてきていると思っています。

○学校に楽しそうに行くので、それが一番です。

●先生側の連携がとれてない。

—学校より—

お忙しい中、学校評価にご協力いただき誠にありがとうございました。多くの励ましのお言葉をいただきました。また、改善点となるご指摘もいただきました。これらのご意見も参考にさせていただき、次の教育課程の編成を今後進めてまいります。

本校では、学んだことを利活用し、「主体性」をもって課題を見つけ、「協働」して課題解決に取り組み、失敗を恐れず「挑戦」を繰り返しながら、児童がその成果をもって地域社会に働きかけることができることを目標に、今後も取り組んでまいります。

保護者や地域の方からの評価は、子どもたちのエネルギーとなり、「自己肯定感」を育て、「地域を愛する子ども」の姿となっていきます。今後はそうした地域の方の評価が、子どもたちにフィードバックされるような、地域とともにある学校システムを構築できたらと考えています。

今後とも変わらぬご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。